

### Mac Audio

### 2013 - Japan



### アナログ出力(音声出力)を使う

もっとも手軽にiPadをオーディオシステムに組み込むのはiPodのようにアナログ出力を取り出す方法だ。iPadはイヤフォン出力があるので、イヤフォンジャックからケーブルを接続して、オーディオ機器のアナログ入力(音声入力)につなぐこともできる。しかしiPadはわりと音がよいといっても電池やサイズなど制約があるため、内蔵されている音声出力用のアンプはそれほど性能のよいものではない。これを解決するポイントはドック経由で音を出すことである。

iPadやiPhoneではドックを使うことでスピーカーにつなぐことのできるアクセサリが発売されている。ドックのコネクターから出力されるオーディオ信号はiPadに内蔵されるアンプを通らず、アンプに通す前の品質の高い信号が送られているのでこれを利用するわけである。しかしアンプに通す前の信号のままではヘッドフォンやスピーカーで聴くことはできないため、増幅するためのアンプを外部に接続することになる。外部に持つためiPadの制約を受けずに高い音質で楽しむことができる。

ケーブルの長さには用途によって短いものと長いものがある。毎日通勤や通学にiPadを持ち運ぶならこれにポータブルヘッドフォンアンプをつけるのも面白いが、この場合は短いケーブルが適している。例えば最近ポータブルにも力を入れているフルテックのADLブランドで新製品のiD-30Pシリーズがある。これは低価格で音質もよく、コストパフォーマンスが高い。また曲げやすいのも使いやすい点だ。ミニプラグとUSBタイプがあり、USBタイプは次項のiOSデジタル接続で使用できる。



ADL iD-30PL 0.15M (¥5,460/15cm)。iD-30P シリーズはこのほか、ストレートミニジャック、USB端子などのシリーズを用意する。